

第61回調布市民体育祭陸上競技 競 技 者 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会の、申し合わせ事項により実施する。

2. 練習について

- (1) 練習は事故防止のため、マーシャル・競技役員の指示に従うこと。
- (2) ホームストレートでの練習は禁止する。特に、フィニッシュライン周辺は、写真判定の妨げになるので、近づかないこと。
- (3) 跳躍・投てきの練習は審判員の指示に従い、競技開始前にフィールドで行うこと。
- (4) 練習トラックは、バックストレート側左回りとし、逆走は禁止する。5～8レーンとし、戻りはレーンの外側で戻ること。
- (5) ハードル練習は、11:30～12:30の指定時間帯のみ使用し、他時間は禁止とする。

7レーン…2年女子100mH、8レーン…3年女子100mYH

- (6) リレー練習は、6・7・8レーンとする。

3. 召 集 について

- (1) 競技者招集場所は、100mスタート付近に設置します。

- (2) 競技者招集及び終了時刻は

トラック競技	開始	競技開始時刻の	30分前
	終了	競技開始時刻の	20分前
フィールド競技	開始	競技開始時刻の	40分前
	終了	競技開始時刻の	30分前

- (3) 招集は必ず本人が行い、代理は認めません。
- (4) 上記の招集時刻に遅れた競技者は、「棄権」と見なします。但し、招集時刻に他種目に出場し重複する場合は、競技者係とフィールド審判員へ申し出て競技に支障のないようにすること。
- (5) 競技を「棄権」する者は、招集開始時刻の20分前までに競技者係に届出をし、番号を消しに来ること。
- (6) リレー競技に出場するチームは、競技開始1時間前までに、オーダー用紙を競技者係へ提出すること。オーダー用紙は競技者係に備えてあります。
- (7) リレー競技に出場するチームは、同一ユニフォームで4人揃って競技者係でチェックを受けること。第4走者は腰番をもらい、右腰につけること。
- (8) 招集完了後、競技者は競技者係の指示に従うこと

4. アスリートビブスについて (旧ナンバーカード・ゼッケン)

- (1) アスリートビブスは、ユニフォームの「胸と背」にしわにならないように四隅をしっかりとピンで止めること。但し、跳躍競技の競技者は、胸か背の一方でも良い。
- (2) トラック種目の競技者は、競技者係で招集時に配布される「腰ナンバー標識(腰番)」を「右腰」へ付ける。写真判定用です
- (3) 腰ナンバー標識(腰番)は、トラック種目ごとに配布され、コロナ対策で使い捨てとなります。
フィニッシュライン通過後、備え付けのゴミ袋に捨て、手指消毒をすること。

5. トラック競技について

- (1) スタートの合図は、イングリッシュコマンド(オンユアマークス*セット)で行う。但し、小学生は日本語で行う。
- (2) レーン順は、プログラム記載番号順とし、欠場者レーンは空ける。
- (3) スターティングブロックは小学生を除き使用する。但し、小学生のスタートはブロック使用・スタンディング・クラウディングでも良い。
- (4) 400mまでの競技は、セパレートスタートとする。
- (5) 800m以上の競技は、オープンスタートとする。但し、出走人数によってはグループスタートで行う場合もある。
- (6) 予選のない全レース(ハードル競技含む)は、プログラム表示の有無にかかわらず、タイムレース(TR)決勝とし、記録順に順位を決定する。
- (7) 予選のある競技は、タイム順に上位8名が決勝へ進むことができる。同記録の場合は抽選とする。また、決勝のレーン順は、本部で決定する。
- (8) 不正スタートした競技者は、1回で「失格」とする。小学生は同一競技者が2回不正スタートをした場合に「失格」とする。但し、失格者はオープン参加とし、その競技に参加することはできるが、記録は参考記録とする。
- (9) セパレートレーンを使用する競技では、フィニッシュライン通過後も安全のために自分のレーンを走ること。
- (10) リレー競技のマーク用テープは、各チームでチーム名を記入して用意し、レース後に剥がすこと。

6. フィールド競技について

- (1) 競技順はプログラム記載の順序による。試技数は3回で上位8名を決定し、以後3回の試技を行う。但し、小学生・中学生は3回とします。
- (2) 走高跳のバーの上げ方は原則下記の通りとする。

	中学女子	中学男子	一般女子	一般男子
練習の高さ	1 m 0 5	1 m 2 0	1 m 3 0	1 m 5 5
競技開始の高さ	1 m 1 0	1 m 2 5	1 m 3 5	1 m 6 0

但し、グランドコンディション・競技者の状況等により、審判長の判断で変更もある。競技者が最後の一人になり優勝が決まるまでは、5 c m刻みとします。

- (3) 小学生の走幅跳びは、実測とする。希望により踏切板からの実測も可とする。
- (4) 砲丸投げの重量は、中学女子…2. 7 2 Kg、中学男子1・2年…4. 0 Kg、中学共通男子…5. 0 kg、一般女子…4. 0 Kg、一般男子…7. 2 6 Kg とします。

7. そ の 他

- (1) 競技に使用する器具類は、すべて主催者が用意したものを使用する。
- (2) 競技用靴について、スパイクのピンの長さ9 mm以下、走高跳12 mm以下、ピンの数は11本以内とする。
靴底の厚さはフィールドとトラック800 m未満の種目は20 mm以内、800 m以上の種目は25 mm以内とする。但し、小学生は除外します。
- (3) 各競技の記録は、レース終了後約30分を目途に、本部裏側のスタンド下付近に掲示します。
- (4) 表彰は、1位～3位までに、賞状ならびにメダルを授与する。

ハードル競技の規格

	(高さ)	(アプローチ)	(インターバル)	(台数)
1年男子100mH	83. 8 c m	13. 00m	8. 50m	10台
2年男子110mH	91. 4 c m	13. 72m	9. 14m	10台
3年男子110mJH	99. 1 c m	13. 72m	9. 14m	10台
1・2年女子100mH	76. 2 c m	13. 00m	8. 00m	10台
3年女子100mYH	76. 2 c m	13. 00m	8. 50m	10台